

問題と関係性を分ける

上司、部下やパートナー、チームでプロジェクト等を進めていて想定していた通りに進んでいない時、どのように対応されていますか？ プロセスを進めるために上手く取り組んでいくにはどうしたらいいのでしょうか？

こういった場合には、問題と相手との関係性が混在し、何をどう解決したらいいのか、混乱することがあるかと思えます。このような時には、問題と関係性を切り離して、まず関係性から見ていきます。そのためには、「何が問題になっているのか」を明確にしてから、いったん脇に置くことが大切です。その上で、そもそも互いにどのような関係でこのプロジェクトを進めていきたいと考えているのかを話し合ってみましょう。

そもそも関係性とは、何らかの共有できる目的があるから成り立っているのではないのでしょうか？「我々はそもそも何のために一緒にいるのか？」「当初何に合意して今ここにいるのか？」「本当はどうしていきたくて考えていたのか」を互いに話してみましよう。そして、この目的が共有できてきたら、それに対し「どんな雰囲気や文化・風土を作りながら一緒にやっていきたくていいのか？」を話し合いながら、最適な関係を見つけていきます。最適な関係であるために、互いにどうあるべきなのか、自分が約束すること、相手をお願いしたいことも明らかにしていきます。「〇〇を知ったら報告する」「週に一度進捗状況を話す場を持つ」「期限を明確に伝える」「なぜこの行動が必要なのか背景から説明する」「ブレイクタイムを定期的に一緒に過ごす」など様々です。

この「一緒にどんな関係性でいきたいのか」を互いに明確に理解できた時、今後どう

「問題」と認識していたものに今後どう取り組んでいけばいいのかが見えやすくなっていることでしょう。また、関係性は常に変化していきます。もし、共有できるものがないのだとしたら、何かを見直す時期なのかもしれません。

新しいプロジェクトを始める時にも、こういった関係性をメンバー間でしっかり理解し合っておくことが重要です。このことによって、今後どうプロジェクトを進め、どう問題に対処するのかを事前に理解できる部分が増えてきます。当社ではチームや組織、また経営層に向けて関係性を明らかにしていくセッションを行っていますが、ここを見直すことがパフォーマンスにも影響してくるようです。

●公開セミナー・イベント案内

- ・12/18(土) ブラッシュアップセミナー：「最適な目標設定」お申込み受付中
- ・組織開発・コーチング・リーダーシップコミュニケーション等トレーニングのご相談はHPからお問い合わせください。
- ・新月にかけて無料メールマガジン配信中。



Clarity Mind

リーダーの想いを「かたち」にし、一人ひとりの意欲を触発する

クラリティマインド

代表 鮎川詢裕子

エグゼクティブコーチ マインドトレーナー



商社にて長年経営層の傍らで経理・経営企画・IR・秘書業務に従事後独立。人と組織が意欲を持ってミッションや目的を実現していくのをサポートしている。

info@clarity-mind.com
www.clarity-mind.com

クラリティマインド

検索